



No.830
2026.3.20

発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

昴友の会 第6回うたごえ喫茶



本並先生のオカリナ演奏



うたごえ喫茶のリクエストをグループで熱唱

3月1日、恒例のうたごえ喫茶を開催しました。

「北国の春」を皮切りに春の歌を7曲「太陽と月」と題して「下町の太陽」「月の砂漠」などを歌いました。途中「昴」として「シックスペンス」と「日日草」を演奏。やんやの拍手を頂きました。

後半は本並先生のオカリナ演奏で開演、その後はリクエスト曲で進行了ました。後半のメインは「友の会」の勧誘で「百万本のバラ」を友の会のみなさんと演奏。11月のコンサートで舞台と一緒に歌いましょうと呼びかけました。

今日は、いつもよりお客さんも昴も少なく、盛り上がりはもう一つでした。(岡邑)



3～4月の活動予定 (会議を除く)

- 3/20(金) 17:30 特別団員合同レッスン
- 〃 19:00 定例レッスン
- 4/ 3(金) 13:30 声楽中村教室
- 〃 17:30 定例レッスン
- 4/ 5(日) 14:00 昴友の会定例会
- 4/ 7(火) 15:00 T1. T2パートレッスン
- 4/14(火) 13:30 声楽千秋教室 I
- 〃 18:00 Br. Bsパートレッスン
- 4/16(木) 16:30 声楽千秋教室 II
- 4/17(金) 17:30 特別団員合同レッスン
- 〃 19:00 定例レッスン
- 4/19(日) 14:00 特別団員合同レッスン
- 〃 16:00 定例レッスン

大うた総会から2027大阪祭典へ

事務局長 立川孝信

3月1日、大うた総会が85名参加で開かれました。昴からは吉岡、立川が参加しました。

昨年の総括ではコンサートやうたう会が旺盛に取り組み、団員を増やしていること、「ぞうれっしゃ」の運動が広がり東成区制100年のついでに全曲演奏されたこと、神戸日うた祭典では大幅に賛同金を集め、411名が合同演奏に参加し成功に導きました。うた新拡大では200人目標が176人の達成で減紙が目立ったがお試し制度は成果が大であった。そんな中で2027年祭典の準備会を4回・企画プロジェクト6回・運営委員会・実行委員会を着々と取り組んできました。

方針は、「コンサートやうたう会を積極的に取り組もう・うたごえ新聞を300目標で取り組もう・2027祭典成功のため運営委員会や実行委員会を精力的に取り組もう」などが提案されました。

記念講演はうた新編集長の三輪さんにより「うたごえ運動80年」を語っていただきました。プロ歌手の関鑑子さんが戦争を止めるためにうたごえで平和の誓をつくらうと合唱運動を全国に広げられたのがうたごえ運動の始まりです。その運動の根幹はうたう喜びを広げる・思いを創作する・芸能を伝承する・専門家との協働・世界の音楽を学ぶ。として「うたごえは平和の力」「闘いと共に」「生きる力」をスローガンに様々な運動を展開してきました。この運動を継承・発展させようと呼びかけられました。

全体討論では15人の発言があり、被災地支援・演奏活動・学生に呼びかけて演奏会・祭典への企画で地域でうたごえ祭典など精力的な活動が発言され、吉岡さんは「昴の演奏活動の広がり」を発言しました

この後決算・予算・総括・方針を採択・役員選挙では立川は引き続き副会長に選ばれました。また2027年の祭典キャッチコピーは「世代を超え 国を超え 手をつなごう うたごえで」が選ばれました。

紹介が遅くなってしまいました。昨年10月に入団された、T1飯田さんとT2田中さんから今の思いを寄せていただきました。



男声合唱団「昴」に入団して

T2 田中 三千夫

「昴」の名は、土井さんや清水さんが入っておられたので、何度かコンサートに行かせてもらっていました。

今回、飯田さんといっしょに「日曜会員」として入団させていただきました。ありがとうございます。

以前から入団したいと思っていましたが、「昴」の前に二つの合唱団に入ることになり、今回三つ目の入団になります。

奈良から通っていますので、交通費、食事代が掛かり、年金生活者にとってたいへん厳しい財政事情になっています。

「昴」の実力は、素晴らしいです。入団して、ますます歌の実力や皆さん一人ひとりの人間性に良さを感じています。コンサートでの演奏だけでなく、一緒に歌ってみて、その実力を身に染みて感じています。特にバスの実力は、実が震えるほどです。

私も少しでも力になればと思っています。これからもよろしく願います。



T1 飯田 正仁

皆さん、お世話になっております。2025年10月より昴に入団致しました飯田正仁と申します。平日の仕事の終わる時間が遅く、今現在は日曜日しか練習に参加できません。誠に申し訳ございません。

私はこの合唱以外に、趣味として詩吟をしています。どちらか声をしっかり出すという点では同じなのですが、詩吟は一人で歌う(吟ずる)のに対し、合唱は本当に仲間との調和が大事だという事に今更ながら気づかされました。特に私は声が大きく高いのでどうしても目立ってしまう傾向がありますが、私一人が目立ってしまうと全体のハーモニーが滅茶苦茶になってしまいます。全員一体で一つの「作品」なのです。この「調和」の大切さに気付かせていただいた事、これが今回所属して一番の大きな収穫ではないかと思っています。

そしてその「調和」を生み出す為には団の雰囲気も大事ですが、入団したてのこんな私に皆さんが優しくそして丁寧に指導してくださる分け隔ての無い雰囲気、これも魅力の一つであり又宝なのではないでしょうか。人を育てるといいう事が難しくなっている現在において、これは特に大切な要素だと感じます(私が所属する詩吟の会も昴と同じ雰囲気ですが、会社も見習って欲しい!)

最後になりますが、限られた練習日にできる限り参加し、一刻も早く皆さんの足手まといにならないようにしたいという事が私の目標です。かの「どんと来い」の歌のようにでんと構えて何事にも動じない余裕を自分自身の中に持つ事が出来たら最高です。私自身これからも益々精進して参りたいと思いますので、末永くよろしくお願ひ致します。

2026年度 国内コンサート

日程：7月31日(金)

会場：ねむかホール

今年度は、国内コンサートを総会・特別レッスンと同じ日程の中に組み込まず、別々に実施することになりました。

気軽に日頃の練習の成果を発表しましょう。

歌って参加、聴いて参加

日本のうたごえ祭典 in ながの



日本のうたごえ祭典 in ながの

実行委員長 今井伏子さんのメッセージ

いよいよ「日本のうたごえ祭典inながの」の年になりました。

「神戸・ひょうご祭典」の感動とエネルギーをしっかりと受け止め、バトンをいただいてきました。

信州は「緑のくに、それはいのちのふるさと。」です。長野らしさを探しながら、みんなの創意と力を結集し、うたごえが生きる力、平和の力になるような祭典を創ってこうと準備しています。

日本のへそ！信州の11月は、りんごとお蕎麦の美味しい季節。紅葉した山々と新雪で真っ白なアルプスのコラボが美しい信州へぜひひお越しください。

山々に響き渡る「アルプホルンの演奏」信州の大地が育てた民舞、豪壮な

諏訪大社御柱祭りの木やり、民衆の寺善光寺の僧による「お経と合唱のコラボ」。戦没画学生の絵を集めた「無言館」にかかわる組曲「こわしてはいけない」を窪島誠一郎さんと池辺晋一郎さんの対談とともに全曲演奏します。

今、世界のあちこちで戦争が続き、子どもや老人までが無残に命を奪われています。また地球環境が日々破壊され、私たちの自由と人権が侵されるなど「生きる?事が難しくなりつつあります。

「2026日本のうたごえ祭典inながの」はうたごえ運動のポリシーである「平和な世界で生きていく」事を求めながら笑顔で皆さんをお迎えしたいと思います。全国の仲間と交流して、心に残る祭典にしましょう。

